

## 目標達成計画

作成日: 令和 2年 12月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	最新の防災機器を備えての開所ではあるが、様々な災害を想定した訓練計画を立て、どの職員もいざという時に冷静沈着な行動が取れるように訓練を実施したり、消防署の立会の下で避難誘導訓練を行い専門的立場からのアドバイスを受け職員間で周知し、災害時の入居者の安全に繋げることを願いたい。また、地域の防災状況を把握した上で事業所の役割を模索し、協力関係に進展させることを期待したい。	夜間想定における防災訓練を実施していく。	年に2回の防災訓練があるので、その際に1回目・2回目と分け、通常時間以外における夜間想定を実施する。具体的には下記取り組みをする。 ① 1回目の防災訓練(6月予定)時において職員に夜間を想定した訓練内容を案内・理解をさせる。 ② 2回目において夜勤者において一部防災訓練を単独実施をさせる。	12ヶ月
2	35	最新の防災機器を備えての開所ではあるが、様々な災害を想定した訓練計画を立て、どの職員もいざという時に冷静沈着な行動が取れるように訓練を実施したり、消防署の立会の下で避難誘導訓練を行い専門的立場からのアドバイスを受け職員間で周知し、災害時の入居者の安全に繋げることを願いたい。また、地域の防災状況を把握した上で事業所の役割を模索し、協力関係に進展させることを期待したい。	消防署の立ち合いでの防災訓練を実施していく。	年に2回の防災訓練があるので、1度は来ていただき消火器や必要な情報提供を依頼する。但し、コロナの兼ね合いにおいて難しい場合は、消防署でのパンフレットや情報提供ツールにおいて職員の理解度を高めることをしていく。	6ヶ月
3	35	最新の防災機器を備えての開所ではあるが、様々な災害を想定した訓練計画を立て、どの職員もいざという時に冷静沈着な行動が取れるように訓練を実施したり、消防署の立会の下で避難誘導訓練を行い専門的立場からのアドバイスを受け職員間で周知し、災害時の入居者の安全に繋げることを願いたい。また、地域の防災状況を把握した上で事業所の役割を模索し、協力関係に進展させることを期待したい。	地域との防災状況の把握に努める。	地域消防訓練等の参加や今後自施設における消防訓練の同席を依頼していく。 まずは、地域の防災訓練の日程を理解し、一部職員の参加、その後参加者を増やし事業所におけるイベントの一貫として対応できるように努める。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。